

第 95 回目の GIS News! です

梅雨寒の時節柄、何となく胸のあたりが重苦しく医者に行きました。何も問題はなくホッとしたのですが、その時「心臓や肺そのものは痛みを感じない」と教わりました。医学的に正しい話なのか感覚的な話なのか分かりませんが、そういうものかと身体の不思議に感心してきたところです。



雨の紫陽花

電子自治体とGIS

e-Japan計画により電子自治体が進められているのはご存じのとおりです。位置情報を司るGISもその一翼を担うわけであり、広く推進されるものと期待しております。

電子自治体のメリット

電子自治体というと効率化と住民サービス向上（ネット申請など）というイメージが強いですが、実際は管理者たる自治体が最大の恩恵を受けられるものと思われまます。そして、効率化よりも素晴らしいのは多種多様な情報を複合的・効率的に活用することができることです。様々な情報を横断的に扱うことで自治体は自らの様々な魅力を再発見することができ、住民や来訪者に対して魅力的な生活やサービスを提供できるようになると思われまます。

自治体の個性と魅力を伝えなければならない新しい時代にこそ、必要とされる仕組みと言えるのではないのでしょうか。

電子自治体の課題・問題点

電子自治体を導入するにあたり、自治体は自ら検討し解決しなければならない課題が数多くあります。切り口によって様々な課題が見え隠れし、費用も安くはなく、目的の明確化やトラブル処理、費用対効果を唱えれば先に進まないのが実状かもしれません。例えば、今現在も話題になっている個人情報の流出もそのひとつと言えるでしょう。

ですが、導入の意志が無ければ前に進まないことも事実です。実際のシステム導入は先であっても、導入に向けた様々な検討は、早い段階から始めて頂きたいと思ひます。

もちろんGISも検討すべき事項のひとつです。現在どのような精度の地図がどのように管理されていますか？先ずはそんな情報をまとめるところから準備を始めて頂ければよいのではないかと思ひます。

次回のGIS News!

次回は、2005年8月8日発行予定です。よろしくお付き合いください！

Geographic Information System